

# オンリー



バリアフリー  
ペーパー

冬号

平成 29 年 1 月 20 日発行



この機関紙は、西条市障害者相談支援センターがパソコン就労をめざす障がい当事者グループ「オンリーワン」に編集を委託し、協同で作成したものです。



明けましておめでとうございます。皆様お元気で新年をお迎えのことと存じます。オンリーワンに関わらせてもらうようになって一年になりました。今年も気を緩めることなく、積極的に取り組んで参りたいと思います。皆様のご多幸をお祈りいたしております。（支援センター 高木）

## 福祉センターでは、地域で美術活動をされている方の作品を展示しています



曾我部林造さん【絵画】

H28.9.25～H28.10.16



矢野博記さん【ちぎり絵】

H28.12.13～H29.1.18



十亀洗さん【切り絵】

H28.10.17～H28.11.14



山内信子さん【写真】

H28.11.15～H28.12.12

地域で美術活動をされている方の絵画や写真等の美術作品を、西条市東予総合福祉センター1階フロアの壁面に展示しています。ご来所の折に素晴らしい作品をご観覧いただければ幸いです。

また、展示していただける作品を随時募集していますので、希望をされる方は下記までご連絡下さい。

西条市障害者相談支援センター（0898）64-2600 内線 213 担当：高木

展示期間：約 1 ヶ月程度

場所：西条市東予総合福祉センター1階（西条市周布 606 番地 1）

時間：8 時 30 分～17 時 15 分（月曜日～金曜日）



## 当事者の奮闘記 未来への足跡(あしあと)



### ～近藤千代美さん～

今回は、西条市小松町にお住いの、近藤千代美さん(57歳)取材しました。近藤さんには知的障害がありますが、小松町にある「デイサービスセンター池さん」で働き、4年になります。人と関わるのが好きな近藤さんは、やりがいを持ちイキイキと働いておられます。

取材当日、手足が冷えて強ばりそうになる寒空の下、事業所の玄関前で掃き掃除をしていた近藤さんが笑顔で迎えてくれました。その姿は、スタッフの一人というより、池さんの住人の一人であるかのような自然な光景に見えました。近藤さんがピカピカに磨いた窓の内側では、「池さん」を訪れている高齢者の方々が穏やかな表情で、思い思いに寛いでいる様子が見えました。

「皆が喜んでくれることが嬉しいから、外掃除も窓拭きも全然苦にならない。」そう話す近藤さんでしたが、池さんでの採用への道りは決して平坦ではありませんでした。他のデイサービスに利用者として通っていた時、ここのチラシを目にし、子供、おじいちゃん、おばあちゃん、施設の人もいて家庭的な雰囲気がいいなと感じていたそうです。「草引きができるからここで働かせて欲しい。」と自ら3度も志願に訪れましたが、いずれも残念な結果に…。諦めることはできず、封じ込められない気持ちを持ったまま、再度「池さん」を訪れました。「もう一度訪ねてくることがあったら、雇うことにしよう。」経営者の池内さんは決めていたそうです。当時は、掃除や草引きの仕事は間に合っている状態だったといいます。それでも、近藤さんのやる気と、「池さん」に対する熱意に圧倒され、晴れて採用になりました。

近藤さんは、小松町に自宅があり自転車で元気に通っています。月曜日～金曜日の10:30～15:30までの4時間労働で、窓ふき、草引き、掃除、洗濯物干し、食後の片づけなど日々いろいろな仕事に励んでいます。昼食は楽しみの時間で、一番に来て台拭きをし、手作りの美味しい食事を皆さんと食べる事が活力源となっているそうです。この4年間で、自分から進んで仕事を見つけたり、苦手な事も嫌な顔をせず取り組むなど、大きく成長したそうです。



池内由紀子さんと近藤さん(左から)



団らん風景



ちーちゃん人形

お休みの日には、趣味の編み物やテレビを見たり、仲の良い友人とカラオケや書道パフォーマンスを見に行くなど、プライベートも充実しています。毛糸で作ったお手製のぬいぐるみ「ちーちゃん人形」は、スタッフなどお世話になっている人にプレゼントしているそうです。「今後もずっとここで働き、介護が必要になったら見てねと言っている。」と嬉しそうに話してくれました。



「池さん」では、パーソナル事業や配食事業なども行っています。

パーソナル事業は、子供、障がい者、高齢者など対象者を限定せず、制度外で預かる事業です。体制が整わず対応できない時もありますが、基本的に24時間365日利用できます。施設に馴染まない方が家庭的な雰囲気の中で安心して過ごせたり、公的なサービスが確保できない時に利用でき家族も助かっているようでした。費用は、障がいの程度や曜日によりますが1時間500円からとなっています。



品数が多く優しい味のお弁当

配食事業では、個人・会社・グループなど、お弁当が欲しい方に提供しています。1食500円で、旧小松町は無料で配達しています。冷凍食品や調理済み食材は使わずできるだけ自家製の物や地元の食材を使い、要望があれば他の食材に代えたり、調理方法を変えるなど、可能な限りリクエストに応じています。食堂もあるので、お昼休みにふらっと食べに立ち寄る方や、一人で食べるのは寂しいからと、毎日食べに来てゆっくり過ごして帰られる方もいらっしゃいます。

「介護保険等の制度では、補いきれない面がどうしてもあります。細かな要件があったりボーダーラインが引かれ、必要なサポートが不足していることに疑問を持ち続けていました。普通に当たり前に誰もが衣食住に困らない場を提供していきたいとの思いが、事業を始めたきっかけでした。」と池内さんは話してくれました。

近藤さんが好きな“最強家族”の言葉には、同じ空間で過ごす、利用者もスタッフも子ども達もみんなが隔たりなく、家族以上の強い絆で結ばれているという思いが込められているのだと感じます。今回「池さん」取材に訪れ、自然と心がほぐれ我が家に帰って来たような感覚になりました。家族のように優しいスタッフの皆さんや、地域との繋がりが「池さん」を温かく見守って支えています。近藤さんを始め、ほのぼのとした“最強家族”にまた会いに行きたいなと心から思いました。「池さん」の活動をこれからも応援しております。(オンリーワン 和田)

#### 【デイサービスセンター池さん】

西条市小松町南川甲 236-5  
(小松中学校前)  
電話：0898-72-5236  
担当：池内さん



題名：お正月



とり年になるのでニワトリを描きました。富士山に登っているのはサッカーの本田選手などの何でも一番の人をイメージしました。初日の出は太陽を立体的にするように工夫をしています。今年の目標は、人に頼ることが多いので、自分でしっかり決めて頑張りたいです。

(山内 慎介)





## のびちゃんのべすとしおと

題名：初詣

明けましておめでとうございます。みなさんはお正月はどのように過ごされましたでしょうか。この写真は、お正月に石鎚神社へ行ったときの一枚です。天気も良く大勢の方が参拝されていました。今年のおみくじは大吉を引きました。年の後半から運気が上向いてくると書かれていたので、あせらず元気に過ごしたいと思います。本年も皆様が御健勝で御多幸でありますよう、心からお祈り申し上げます。

(オンリーワン 山内 信子)



## そよかぜの詩

「ハーモニー」

どんな見慣れた変わらない景色でも

木々の葉っぱの色彩や

風の心地よさや

空の色は

日々刻々と変わっている

そして、すべての動物や植物は

人間と同じ時空間で共に生きている

みんな「季節」という楽譜に沿って

それぞれのパートを奏でている

自然のオーケストラに心を向けつつ

自分の命も優しく、たくましく

奏でていきたい

佳子

## つぶやきの窓 ♪ by HIRO

先日、ケリという鳥を扱ったテレビ番組を見ました。ケリは春ごろ、田んぼに巣を作ってそこでひなを育てます。そのひなをカラスやトビ、ヘビなどの天敵が襲おうとするのですが、ケリの夫婦は果敢に闘います。ケリはハトくらいの小さな体ですが、体の大きな敵にも立ち向かっていきます。トビは大きくて手強い相手ですが、夫婦のケリだけでなく、仲間のケリの夫婦が助けに来て、団体でトビを追い返します。そのチームプレーにすごい！と感じさせられました。ケリを見習って、様々な場面で仲間が協力できるよう、よく考えて行動しようと思います。

発行：西条市障害者相談支援センター（西条市社会福祉協議会）

編集：オンリーワン編集委員

〒799-1371 西条市周布 606 番地 1 西条市東予総合福祉センター内

TEL：0898-64-2600（代） FAX：0898-64-3920 E-mail：soudan1-saijo@saijoshakyo.or.jp



次回 4月発行